

からくりパズル通信

2013年10月2日 第10号

小田原・箱根「からくりパズル」を広める会 発行

E-mail: info@karakuri.gr.jp HP: <http://www.karakuri.gr.jp/hiromerukai/>

事務局 〒250-0055 神奈川県小田原市久野 3764-9 TEL 0465-32-3631 FAX 0465-32-3634

●「関所からくり美術館」がオープン！

箱根関所近くに、からくりが楽しめる新たな観光スポット「関所からくり美術館」がオープンしました。美術館には「からくり創作研究会」の作品およそ100点を展示。また、からくり家具や電動秘密箱、遊びコーナー、歴史年表など、様々な展示が行われています。また、からくりの工作体験ができるスペースが用意されています。



9月14日（土）、箱根町長をはじめ、多くの来賓・関係者にご参加いただき、開館式が行われました。開館式後、参加者は「からくりドア」に挑戦。見事開ける度に歓声が上がりました。また、職人の作品紹介を受け、地元で作られる作品に感心されていました。遊びコーナーでは、初めて見るからくりに挑戦されました。



「関所からくり美術館」は、からくり箱専門の初めての美術館となります。今後、多くの方からからくりパズルの面白さを知って頂く上で、重要な役割を果たしていきましょう。美術館の更なる発展が期待されます。

●からくりパズルフェスタ2013が閉幕

今年もからくりパズルフェスタが開催され、アイデアコンテスト、工作教室、スタンプラリーなど様々な企画が行われ、多くの方々に楽しんで頂きました。今回のフェスタでは、参加者がよりからくりを楽しみやすいよう、スタンプラリーを中心に各企画を連携させることを意識して準備しました。また、各企画、新しい試みも行われました。

<コンテストでは「四角い形のからくり箱」を募集>

コンテストでは、従来からの「自由な形」に加えて、秘密箱を例に「四角い形のからくり箱」のアイデアを募集。違った雰囲気のアアイデアが寄せられ、「四角い形」の作品を含めて5作品が入賞。職人が作品に仕上げ、2ヶ所の会場で楽しんで頂きました。



今回のコンテストでは、初めての方がより応募しやすいよう、要項に過去の応募例を掲載するなど工夫を行いました。そのせいか、多くの方々の応募を頂きました。

<工作教室では 800 人以上が参加>

工作教室は新作2種類を含む10種類のキットとパズルを用意。30教室以上を開催し多くの方々にご参加いただきました。近年の工作教室は、地域の小学生の参加が最も多く、地域の方々からくりを知って頂く貴重な機会となっています。

また、大人向けの工作教室として、「かんぬき」という、工作としては難しい仕掛をもつ5回の秘密箱を作り、同会場で行われた作品展示とともに楽しんで頂きました。

●3回目を迎えた「からくりパズルを楽しむ会」

箱根に宿泊しての「からくりパズルを楽しむ会」は、海外を含め30数名が参加。9月最後の週末、晴天にも恵まれ、秋風に吹かれながら、参加者は職人とともに楽しいひと時を過ごしました。お互いの知り合いも増え、和気あいあいとした雰囲気の家となりました。

「楽しむ会」の企画の一つ「職人と語る展示会」では、作品を前に職人と参加者が熱心に会話を交わしました。何人かの職人は、からくり箱に加えて職人になる前の作品も展示。現在のからくり箱の創作につながる雰囲気も見えて、新鮮で興味深い企画となりました。



工作教室では、古いからくりの一つ「犬くわえ」を題材に、教室用に新たにデザインされた工作キットを用意。参加者は真剣に工作に取り組みました。

苦勞の末に完成すると、参加者はその「犬が楊枝をくわえる」動きを見て笑顔を見せていました。

フリーマーケット、チャリティーオークションには幅広い作品が登場。熱心なやり取りが続きました。オークションの売上の一部は、震災復興、森林保護に寄付されます。

特別企画展「モザイク美の世界」を開催中のガラスの森美術館では、寄木コレクションで有名な金子皓彦さんが、からくりを含む寄木の展示を解説。また、美術館の専門スタッフがヴェネチアの「モザイク・グラス」を案内し、参加者は熱心に聞き入っていました。

最後に訪れた「関所からくり美術館」では、職人が館内を案内。展示中の作品を出して解説していきました。参加者からは「製作者に解説してもらえるなんてぜいたく〜！」などの感想も聞かれ、オープンしたばかりの美術館を楽しんで頂きました。

●2014年からくりパズルアイデアコンテスト

「広める会」では、来年2014年のアイデアコンテストの準備が始まっています。まだ詳細は決まっていますが、より多くの皆様の募集を楽しみにしています。

以上